

# Studio での Admin API の起動

## 目次

### [概要](#)

### [管理者 API の起動](#)

### [セッションの作成と終了](#)

## 概要

このドキュメントでは、CIS ( Cisco Information Server ) の WebAPI を使用して、セッションの開始、新しく作成されたセッション内のトランザクションの実行、およびセッションの表示を行う方法について説明します。

## 管理者 API の起動

この例では Studio で管理者 API を起動する方法を示しています。

1. CIS を開始します。
2. 管理者 ( または管理者権限を持つユーザ ) で Studio を実行します。
  1. メイン メニューから、[Administration] > [Configuration] を選択します。
  2. [Server] > [Web Service Interface] > [Log Request and Response Messages] を選択して、[True] に設定します。
  3. [server configuration] ダイアログボックスを閉じます。
  4. メイン メニューから、[File] > [Switch User] を選択して、セッションを閉じてから再度開きます。同じユーザでログインできます。1) Web サービスのログ ファイルを強制的に作成し、2) セッションを開始する方法の例のみを示します。
3. ターミナル ( bash ) ウィンドウを開きます。
  1. 製品のインストール ディレクトリに CD します。
  2. logs ディレクトリに CD します。
  3. `.cat cs_server_ws_request.log` を実行して、初期ダンプを取得します。
  4. `tail -f cs_server_ws_request.log` を実行して、実行中のダンプを維持します。
  5. Studio で操作を実行する間、このウィンドウを開いたままにして、サーバとの通信状況を確認します。注: これにより表示されるのは管理者 API ( パブリック ) の相互作用のみです。プライベートの WebAPI 相互作用は異なるチャンネルで発生するため表示されません。Switch User とロギングの有効化を行うと、closeSession と beginSession のエントリが表示されます。

## セッションの作成と終了

次の手順は、セッションの作成、変換、作業の実行、およびトランザクションとセッションの終了を行う方法を示します。Studio 内で発生するすべての操作が明示的なトランザクションを使用

するわけではありません（多くは暗黙のトランザクションを使用します）。また、目的の例を強調するためにノイズをできるだけ分離することをお勧めします。

1. Studio に戻ります。
2. /Shared/examples/productCatalog\_xform ( 任意の変換 ) を開きます。
3. 変換を編集するには、[Query] ノードをグラフにドラッグしますが、連結しないでください。
4. 変換を保存します。cs\_server\_ws\_request.log の中に次のステップが表示されます。
  1. beginTransaction ( トランザクションの準備 )
  2. getUser
  3. updateTransformProcedure ( コアの作業 )
  4. closeTransaction
5. この例をもう少し興味深くするために次の手順を実行します。
  1. 変換リソースをコピーして貼り付けます ( 名前は productCatalog\_xform\_Copy\_1 )。
  2. 両方を変更しますが、保存しないでください。
  3. Studio で [Save All] を実行します。トランザクション内に updateTransformProcedure に対する 2 つの呼び出しが表示されます。

これらの手順は Simple Object Access Protocol ( SOAP ) 呼び出しの確認に役立ちます。